

第17回おのみち100km挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
信頼感が増したので、ダメなものはダメです、と強く言えるようになりました。しっかり辛抱してくれるようになったので、甘やかしすぎずに接せられるようになったと思います。
まだ変わったわけではないですが、これからは、もう少し子どもを信じて干渉しすぎず任せるようにしてみようと思います。
子どもが成長したようで信じることにした。
100kmの経験を自信にして挑戦する心をもってほしいと声をかけている。
子ども自身の意見をまず確認して、本人の希望を出来る限りきいてあげるようにしました。
子どもが前をむける様な声かけが必要だと改めて思いました。
自分の事は自分でさせる様になりました。幼児期の延長の様に足りない所を手を出して生活してきましたが、子離れのきっかけになりました。自立のさまたげを今まではしてきたかなと反省させて頂きました。
今まで以上に自主性を期待するようになった。
出来るだけ自分で考え、行動できるように声かけをしています。
本人が、どう思っているのかを言葉にしてくれるのを待つようにした点が変わりました。
接し方は特別変わっていない様に思います。
子どもの気持ちを尊重したいと思うようになりました。少し子離れできたのかもかもしれません。
こちらとしてはあまり変わらずですが、少したくましくなったんじゃないかなと感じる事もあるので、大体の事は自信に任せるようになりました。
長子ということで、あれこれ口出し手出ししていましたが、意外と本人はちゃんと考えて行動しているのかなと思い、いつまでも赤ちゃん扱いはダメだなと親の方ががんばらなくてはと思うようになりました。
あまり口うるさく言わなくても良くなった。
子どもの考える力を信じてすぐに口や手を出さず「待つ」ということを心がける様になりました。まだまだむずかしいですが、少しずつ親も変わろうと思っています。
自分で出来る事は全部自分でさすようにしました。

第17回おのみち100km挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
特に大きくは変化はありませんが、なるべく自分で気づき、実行できる様に気長に待つ様にしています。
5日間離れたことで、夏休みに入って怒ってばかりだったのが、お互いに離れたことで、お互いのありがたさを感じることができました。
これといって大きく変わった点はありませんが、今、6年生となり、だんだん親離れし、1人の世界に入ってしまうこともあります。今までと変わらず、たくさん会話をし、子どもの気持ちを聞いてやろうと思います。
自分ですすんでするようになった。何度も言わなくてよくなった。
落ち込んでいる時など、100km完歩できたんだから、やれば出来るから自信を持って等、おの100での経験をプラスにした声掛けが出来るようになりました。
自分で考えて動いてと伝えることが増えた。できると思うので、そう伝えるようにしている。
色々なことをせかさないように、自主性、自発性にまかせるように心がけるようになりました。結果として”自分からできていない”ことも多々ありますが。
おの100、がんばったよね、と伝えることで、はげますようになりました。
4泊5日乗り切った自信を持って、何事にも、自分からいどんでほしいので、やるかどうかは、本人に決めさせるように、心掛けるようになった。
初めてのことに、かなり不安を抱いて、なかなか挑戦できないタイプなのですが、初めてのことで、”出来るよ”としっかり自信を持って背中を押せるようになりました。
常に周囲に気を配って行動できるよう声かけするようになりました。おの100でたくさんの支えを頂いたぶん、日々の生活で身のまわりの方に対して、少しずつ感謝の気持ちを返せるような行動を取ってくれるようになれば、と思っています。
すごい事を成し遂げたという尊敬というか、この子すごいな、と心から思うようになった。
これといった変化はない。
大きな声で叱る事が自然と少なくなった。
今のところ、とくに変わりはないです。しかし、今しかできないことを経験させてやってもいいかな?と思うようになりました。

第17回おのみち100km挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
先回りして準備するのをやめ、自分ですることを見守り、任すことにしました。
「すごいね」「頑張ったね」とほめることが、少しふえた。
母の私が、少しだけ、子どものする事に待てるようになったと思います。夏休みの宿題の進め具合で、毎年終わらない事に「早くやりなさい」と口うるさく言っていたのですが、今年は本人にまかせました。自分で終わらす事ができたので、もっと本人を信じてあげる事、待つ事が本当に大切なんだと思いました。
やればできることを、自信がもてるように声かけしていこうと心がけています。自信がもてず、くやしい思いを家でぶちまけることが多いので、もっと口で伝えてほしいです。
まだまだ小さいので、特に変わった点はなし。
時間を気にして行動できるようになってきたと思う。
少し見守ってみようと思いながら接しています。
特にないです。妹、弟が、お兄ちゃんを大切に（少しですが・・・）するようになったかな。前よりも仲よくなったと思います。
父と交換日記を始めた。
おの100を歩いたから自信がついてるよと伝え続けたいと思います。本人は言われた時はそうでもないですが、思い出し力にしてほしいです。
子どもがどうするか、少し待つて声をかけるようになりました。
信じてみようと思った。口出しをへらす。
今までは声をかけたり、口出ししていたのですが、ぐっとこらえて、過保護、過干渉になりすぎないように心がけています。
少し見守るように意識した。
子どものほうが早く親離れをしたように思います。親も子どもの成長を見守りながら、子どもの自立を応援したいと思います。
皆が100km歩いたことにほめていた。変わった点もなし。
昨年から参加させて頂きましたが、今年の方が何故か寂しく感じました。日に日に成長していく我が子にあまり口だしせず、見守っていこうかなと決めて接するようにしています。

第17回おのみち100km挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

<p>設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)</p>
<p>子どもにまかせてみようと思うようになりました。</p>
<p>昨年”感動の共有”をと思い、しつこく聞きすぎてうんざりされてしまったので、今年をあえて聞かず、変わらず接し方をしていました。帰宅後の生活についてもあれこれ問いつめないようにしたのですが、フタを開けてみれば宿題が残っているとか残念なことも……。今後の成長に期待したいと思います。</p>
<p>ゴール後の子どもが(2回目ということもあり)顔に余裕があってびっくりした。親が思っている以上に、子どもはしっかりしているんだと思いました。</p>
<p>もともと自主的に動けるタイプの子なので、特に何も言わなくても動けていますが、感謝の気持ちを口にすると、お互い気持ち良いね。と二人で話しました。あまりはっきり自分の気持ちを表に出さず、下に二人いるので、つついそちらに手が行くが、息子には色々な体験をさせたい。息子がしたいことを沢山させてやりたいと思いました。</p>
<p>今までもですが、自分のできることはまかせるようにしています。困ったことがあった時も、もう1度、自分で考えさせるようにしています。</p>